

# きょう と し た ぶん か し さく しん ぎ かい 京都市多文化施策審議会 ニュースレター No.18



京都市  
CITY OF KYOTO

へんしゅう きょう と し た ぶん か し さく しん ぎ かい じ む きょく きょう と し そ う ご う き か く きょ く こ く さい か す い し ん し つ  
編集：京都市多文化施策審議会事務局（京都市総合企画局国際化推進室）

2015（平成27）年12月発行

## 2015（平成27）年度第3回会議を開催しました

2015（平成27）年度第3回会議は、今年度の本審議会のテーマである「地域に根付いた多文化共生のまちづくり」を進めるに当たり、重要となる「情報発信」、中でも「多言語や「やさしい日本語」での情報発信の取組等」に焦点を当て、開催しました。実際に「やさしい日本語」での情報発信に取り組まれている団体から活動内容を御報告いただき、その後、意見交換を行いました。



- <日時> 2015（平成27）年11月12日（木）午後2時から4時まで
- <場所> 京都市役所
- <議題> 情報発信～多言語や「やさしい日本語」での情報発信の取組等～  
報告 外国人のための「やさしい日本語」

- 「やさしい日本語」有志の会について
- 京都府内の日本語講師が集まり、2009年に発足。
- 日本語を勉強している外国人、日本に住んでいる外国人を対象に防災に関する出前講座を行うとともに、日本人に言葉をやさしく伝えることについて考えてもらうため、「やさしい日本語」の研修会や勉強会を各地で行っている。
- 「やさしい日本語」について
- 阪神・淡路大震災を契機に、弘前大学人文学部社会言語学研究室（佐藤和之教授）が外国人被災者に、迅速に正確に簡潔に情報を伝える、避難所に誘導することを目的に「やさしい日本語」を考案。
- 日本語能力試験N4（旧3級）が基準になっている。これは、一人でバスに乗ることができる、買い物ができる、簡単な文章が読み書きできる、小学校2年生で学ば漢字が理解できる程度の文法、語彙となっている。



災害用語を外国人に分かりやすい言葉に置き換えて伝える技術を紹介する  
杉本事務局長（左から3人目）＝7月、京都市下京区・府国際センター



避難勧告や氾濫危険水位、特別警戒など災害時に耳する言葉は専門用語が多い。日本語が得意ではない外国人が言葉の意味を理解できず、適切な避難に結び付かない恐れもある。そんな災害用語を分かりやすい日本語に置き換える技術を全国各地で明講講座や勉強会で伝えている。

「やさしい日本語」有志の会は府内の日本語講師が集まり、2009



「やさしい日本語」有志の会は、2009年に発足した。杉本事務局長（右）は、災害時の視点から、外国人に分かりやすい表現を調べる中で、「やさしい日本語」に出会ったと振り返る。

阪神大震災を契機に生まれた「やさしい日本語」は、弘前大（青森県）の研究者が提唱した。例えば「自分の体をさす」と言い換える。「余震」は

「後から来る地震」、「避難する」は「逃げる」と知らず知らずのうちに素早く正確な情報伝達が可能になる」という。

現在は、全国の国際交流協会や日本語講師の普及に力を注ぐ。支援する側だけではなく、災害の経験や知識の少ない外国人を対象に独自の持ち出し型本紹介したカードを教材に勉強会を催し、防災教育の向上を目指す。

### 外国人分かる災害用語に

「やさしい日本語」有志の会（京都府国際センター）は、市内で日本語を学ぶ外国人に「やさしい日本語」の勉強会や研修会を開催し、問い合わせは花岡代表の携帯電話090（5309）0007。

災害時にうまく対応できないという、自営役員などに講習会参加を呼び掛ける。

花岡正義代表（右）は、京田辺市は「防災を切り口に地域住民と外国人が互いの文化を学ぶ場が増えれば相手への理解も深まる。やさしい日本語をまっすぐに伝えてほしい」と願う。

（富田亮次）

- 「やさしい日本語」の作成に関しては、言葉を簡単にし、文章を短くする、ローマ字やカタカナを使わないなどの基本のルールがある（次ページ参照）
- 活動を通して
- 外国人向けの防災出前講座では、イラストや動画、実際の避難グッズなどを駆使するとともに、一方的ではなく会話するような形式で講義を進めている。
- 日本人向けの研修会や勉強会では、どのように言えば外国人の方に分かりやすく、どういう言葉が分かりにくいのかを理解してもらえ。「英語ができないからコミュニケーションがとれない」ではなく、「日本語でも「やさしい日本語」を使えばコミュニケーションがとれる」と実感してもらうことが多い。
- 災害時には、「言葉の壁」「制度の壁」「心の壁」といった3つの壁が高くなると言われているが、「やさしい日本語」で伝えることにより、日常のコミュニケーションが図られ、「壁」の解消につながると思う。また、日常からコミュニケーションがよくとれている自治体や地域は災害時もトラブルが少ないと言われる。
- 日本で、京都に住んでいる外国人に不幸な目にあってほしくない。たとえ災害に遭ったとしても「みんな親切で日本に来てよかった」と思ってもらいたい。日本人と同じようにサービスと情報が受けられるような状況であってほしいと思い、活動している。

## 委員の意見 (抜粋)

- ▶ 実際、防災についてのワークショップに参加したことがあるが、分かりやすくとても勉強になった。ワークショップの参加者の中には、普段は通訳が必要な方もいたが、通訳が全くいらぬいぐら分かりやすい説明だった。
- ▶ 「やさしい日本語」が全国に普及されることを願う。
- ▶ 「やさしい日本語」といっても、今回の報告にあった弘前大学人文学部社会言語学研究室が考案したものもあれば、他のものもあると思う。全国共通になればより良い言語の一つになるだろう。
- ▶ 私たちみんなが様々な言語を学べるわけではないので、多言語の一つとして「やさしい日本語」をもっと意識していくことが大事だと思った。日本で暮らす外国人との共通言語は、「やさしい日本語」だと感じた。
- ▶ 先日参加した防災訓練では「やさしい日本語」が使われていなかった。防災訓練の場をはじめ、もっと日常的に活用されていけば良いと思う。
- ▶ 「やさしい日本語」を一番必要とするのは、日常のコミュニケーションの場だと思う。災害時の情報伝達という面での重要性もさることながら、近隣の外国籍市民等と話すときのツールとして役立つのが「やさしい日本語」だと思う。
- ▶ 日本に来て間もない留学生に対しても、防災のワークショップを開いていただきたい。日本で生活するに当たり、防災の知識を得ることは重要であり、来日直後に受講することで危機感を持つことができると思う。
- ▶ 「やさしい日本語」を共通の言語として、防災教育だけでなく日常の交流においても使うことが重要であると学んだ。

### 参考

## 「やさしい日本語」作成の12のルール (弘前大学社会言語学研究室ホームページ参照)

- ① 難しいことばを避け、簡単な語を使ってください。
- ② 1文を短くして文の構造を簡単にします。文は分かち書きにしてことばのまとまりを認識しやすくしてください。
- ③ 災害時によく使われることば、知っておいた方がよいと思われることばはそのまま使ってください。
- ④ カタカナ・外来語はなるべく使わないでください。
- ⑤ ローマ字は使わないでください。
- ⑥ 擬態語や擬音語は使わないでください。
- ⑦ 使用する漢字や、漢字の使用量に注意してください。すべての漢字にルビ(ふりがな)を振ってください。
- ⑧ 時間や年月日を外国人にも伝わる表記にしてください。
- ⑨ 動詞を名詞化したものはわかりにくいので、できるだけ動詞文にしてください。
- ⑩ あいまいな表現は避けてください。
- ⑪ 二重否定の表現は避けてください。
- ⑫ 文末表現はなるべく統一するようにしてください。

参考URL : <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/EJ1a.htm>

平成25年5月31日に「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」が公布され、平成27年10月以降、すべての住民に対するマイナンバーの通知が行われています。

マイナンバー制度の周知を図るため、国（内閣府）では7言語（日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、ハングル、スペイン語、ポルトガル語）に対応したホームページやコールセンターを開設し、さらにホームページでは25箇国語のチラシを掲載しています。

内閣官房マイナンバー制度ホームページ <http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/index.html>

きんきゅうじしんそくほう つなみけいほう たげんごじしよ さくせい  
緊急地震速報・津波警報の多言語辞書の作成について

平成27年10月、携帯電話等の通信サービスを提供する事業者等が緊急地震速報や津波警報を多言語で提供する際に必要となる翻訳表現を、気象庁、内閣府、観光庁が、「緊急地震速報・津波警報の多言語辞書」として取りまとめました。

この多言語辞書は、「やさしい日本語」のほか、英語、中国語、ハングル、ポルトガル語、スペイン語に対応しており、携帯電話・スマートフォンの緊急速報メールや災害情報を提供する様々なアプリケーション等で活用が進められています。

『緊急地震速報の多言語辞書』『やさしい日本語』

ウ. 情報を受け取った際の対応行動

	現在使っている表現例	「やさしい日本語」
基本行動	落ち着いてください	びっくりしないでください
	揺れがおさまるまで身を守ってください	地震が止まるまで 頭を守ってください
	しっかりと頭を守ってください	頭を守ってください
	上から落ちてくるものに気をつけてください	上から物が落ちます 頭を守ってください
	倒れてくるものに気をつけてください	物が倒れます 気をつけてください
	危ない場所から離れてください	物が落ちるところから離れてください 物が倒れるところから離れてください

気象庁ホームページ「緊急地震速報・津波警報の多言語辞書」より抜粋

じむしょからのお知らせ

本ニューズレターや審議会に関する御意見などがございましたら、下記までお寄せください。

（審議会の会議はどなたでも傍聴することができます。）

また、審議会ニューズレターのバックナンバーや英語版を御希望の方は、下記までお問い合わせください。

京都市多文化施策審議会事務局

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地 京都市総合企画局国際化推進室

TEL: 075-222-3072 FAX: 075-222-3055 Eメール: kokusai@city.kyoto.jp

ホームページ: <http://www.city.kyoto.lg.jp/somu/kokusai/>



この印刷物が不要になれば  
「雑がみ」として古紙回収等へ!



発行：京都市総合企画局国際化推進室  
京都市印刷物第275167号